労働者派遣法に基づくマージン率等の情報提供

株式会社 プロックス

2023年度実績（R5年8月1日～R6年7月31日）

①派遣労働者の数	14 名 （ 7/31現在 ）
②派遣先の数	3 社
③マージン率	38.4%
④労働者派遣に関する料金額の平均額	27,703円 （1日 8時間当たり換算） ＊消費税抜き
⑤派遣労働者の賃金額の平均額	17,066円 （1日 8時間当たり換算）
⑥教育訓練に関する事項	別紙参照（教育訓練計画）
⑦待遇決定方式に関する労使協定を締結しているか否か	締結している
⑧待遇決定方式に関する労使協定の対象となる労働者の範囲	派遣先でプログラマー及びシステムエンジニアの業務に従事する従業員
⑨待遇決定方式に関する労使協定の有効期限の終期	2025年3月31日
⑩その他	賃金には、給料・手当・賞与等を含みます。 マージン率には以下が含まれます。 ●社会保険料（雇用保険、厚生年金、健康保険、労災保険） ●福利厚生費（有給休暇、退職金共済、健康診断等） ●教育訓練費用 ●会社運営費 ●営業利益

株式会社プロックス　教育訓練計画

当社は、派遣従業員のキャリア形成を念頭に置いた段階的かつ体系的な教育訓練の実施計画を以下に定める。

【ソフトウェア作成業務派遣従業員向け教育訓練】

教育訓練（研修）名	区　分	対象者	実施時間	実施形式	内　容
ビジネスマナー	入社時訓　練	入社時	9.0時間	外部研修及び研修室での座学	外部研修機関（商工会議所等）を利用し、社会人としての基礎知識を学ぶ。また、自社の研修で社内の規則等について学ぶ。
ＩＴ基礎（アルゴリズム、フローチャート）	基礎的訓　練	入社時	6.0時間	研修室での座学	プログラマとしての職務遂行に必須となる基礎的知識（プログラミング理論、ハードウェアに関する基礎知識など）を学ぶ
技能（テスト技法）	段階的訓　練	２年目	2.0時間	研修室での座学	ソフトウェア開発で必須のテストに関する基礎的知識（基礎、分類、技法）を学ぶ
		３年目	1.0時間		テスト技法に関する応用的事項（効果的なテスト実施、テストの心理学）を学ぶ
ネットワーク・データベース（ネットワーク基礎、ＳＱＬ）	体系的訓　練	１年目	1.0時間	研修室での座学	ネットワークに関する基礎的事項を学ぶ
		２年目	2.0時間		データベースに関する基本的概念や設計方法を学ぶ
		３年目	2.0時間		データベース言語（ＳＱＬ）の命令語と構文、文法など具体的記述方法学ぶ
プラットフォーム（Ｈ／Ｗ、ＯＳ）	段階的訓　練	２年目	2.0時間	研修室での座学	ソフトウェア開発を担うプログラマ及びシステムエンジニアとしての業務遂行能力向上に必要となるハードウェアに関する知識を学ぶ
		３年目	1.0時間		ソフトウェアとハードウェアとの橋渡しという重要な役割を果たすオペレーティング・システムに関する知識を学ぶ
ヒューマンスキル（コミュニケーション）	入社時訓　練	入社時	1.0時間	研修室での座学	社会人として仕事を通じたより良い人間関係を構築し、円滑な業務遂行をするために必要となるコミュニケーションの基本を学ぶ

教育訓練（研修）名	区　分	対象者	実施時間	実施形式	内　容
ヒューマンスキル（コミュニケーション応用、コーチング）	体系的訓　練	２年目	2.0 時間	研修室での座学	コミュニケーションに関するより実践的な理論及び手法を学ぶ
		３年目	2.0 時間		対人関係についての知識をさらに深めるためのコーチングに関する基本的事項を学ぶ
品質管理	段階的訓　練	３年目	2.0 時間	研修室での座学	ソフトウェアに特化した品質管理の理論及び具体的手法を学ぶ

【無期雇用派遣従業員及び４年目以降のさらなるキャリアアップ向け教育訓練】

教育訓練（研修）名	区　分	対象者	実施時間	実施形式	内　容
リーダー（システム要件定義）	段階的訓　練	無　期及び５年目以降	2.0 時間	研修室での座学	基本的･応用的業務遂行能力を一通り獲得した後の更なるキャリア形成のため、管理的立場での職務遂行に必要となるシステム要件定義に関する知識について学ぶ
リーダー（リーダーシップ）	段階的訓　練	無　期及び10 年目又は PL 昇格前	2.0 時間	研修室での座学	基本的･応用的業務遂行能力を一通り獲得した後の更なるキャリア形成のため、管理的立場での職務遂行に必要となるリーダーシップに関する知識について学ぶ
リーダー（プロジェクトマネジメント）	段階的訓　練	無　期及び PM 昇格前	2.0 時間	研修室での座学	基本的･応用的業務遂行能力を一通り獲得した後の更なるキャリア形成のため、管理的立場での職務遂行に必要となるプロジェクトマネジメントに関する知識について学ぶ
高度専門知識習得研修	体系的訓　練	無　期及び４年目以降	10.5 時間	外部研修	問題や課題の解決に必要な要因分析の手法や改善に関する実践的な知識を学ぶ。また、外部の企業見学や同種企業関係者との情報交換会などを通じ、新技術を含む知見を広げる。